

## 現状・課題

●海外拠点を持つ企業の7割以上※にとって、グローバル化を推進する国内人材の確保・育成は大きな課題

(※ 出典：経済産業省「グローバル人材育成に関するアンケート調査」(2010年3月))

●諸外国が海外留学者数を伸ばす中、日本人の海外留学者数は2004年以降減少傾向 2004年から2010年で24,885人減少(約▲30%)

## 目標

	日本人留学者倍増	
	2010	2020
大学生等	6万人	→ 12万人
高校生	3万人	→ 6万人

## 目指すべき姿

●質の高い海外経験とグローバルな人的ネットワークを有する多くの人材が、大学等を卒業後に様々な分野で活躍

●国連等の国際機関の中核で活躍する日本人の増加により、世界的な我が国のプレゼンス・影響力が向上

## 国(日本学生支援機構)、民間、大学が一丸となって我が国のグローバル人材を育成

- 国(日本学生支援機構),連携企業,大学等が協働で選考・研修等を実施
- 留学だけでなく、インターンシップ等も連動する新たな取り組み
- SNSによる本事業参加学生等のコミュニティを創設し、国(日本学生支援機構),連携企業,大学等がそれを活用

## 学生等の成長プロセス

### 留学目的の明確化

- ・選抜による意欲の喚起
- ・留学目的が明確になることにより、将来の具体的なキャリアプランを描く

### 質の高い留学

- ・明確な目的を持った優秀な学生が質の高い留学プログラムに参加し、大きな成果を得る
- ・支援メニューに応じ、留学後に活かせる多様な経験を積む

### 留学成果の定着等

- ・留学経験者が意見交換を行う交流会や、成果発表会等を通じ、留学の成果を真に身に付ける
- ・インターンシップや企業説明会等に参加し、企業理解を促進することにより、就職に向けた雇用のミスマッチを防止

## 選抜

成績優秀者だけでなく、高い意志と強い意欲がある学生等を選抜

- 成績要件の設定
- 明確な留学計画、指導教員等による推薦状、面接による選考

## 事前研修

行っただけに終わらない留学目的の明確化

- 留学希望学生等を対象に、例えばグローバル事業の現状や企業が直面している課題などをテーマに企業若手社員によるワークショップ等を実施。これによる留学目的の明確化と意欲向上をねらう

## 留学時の奨学金支給

国費及び民間資金により奨学金を支給。民間視点での支援メニューにより多様な学生を支援。

### 【国費による支援】

平成26年度予算額	88億円
大学生等	: 10,200人 → 20,250人
高校生	: 300人 → 1,600人
・奨学金による支援	
・留学プログラムの評価 等	

## 事後研修等

留学を真に血肉とするために欠かせないフォローアップを実施

- 個々人の内省を促す仕組みや、経験者同士で意見交換等の交流会を実施
- 留学修了者によるSNSコミュニティを創設し留学目的の実現に向けた取組の継続など

## インターンシップ・企業説明会等

留学修了者を対象としたインターンシップ、企業説明会等の実施

- 連携企業が実施する長期インターンシップへの参加
- 連携企業に限定した企業説明会等の開催

## 連携企業の役割等

企業ニーズに沿った優秀な学生等を選抜するため(希望に応じ)選考への参加

若手社員を講師として派遣。社内の若手社員研修として活用することで研鑽の場にも

### 【民間資金による支援メニュー(案)の提供】

- ・今後成長が期待される新興国(アジア等)への留学支援
- ・理系分野(工学・農学・医学等)における留学支援
- ・世界トップレベルの大学への留学支援
- ・日本の各地域で活躍することを希望する学生等の留学支援
- ・グローバルリーダーとしての素養を持つ人材、一芸に秀でた人材等、多様な人材への留学支援

若手社員を講師として派遣。社内の若手社員研修として活用することで研鑽の場にも

・優秀な学生等の発掘  
・学生等の企業理解増進による雇用のミスマッチの防止

グローバル人材となって実社会へ!